



## 結婚相談所で出会う

対面の安心感とアプリの気軽さを  
兼ね備えた結婚相談所

早速、新しい出会いの機会を創出

## 冬将軍さん 男性・30代前半

年齢を重ねれば自然に結婚できると思っていたが、30歳を迎えた時、そうでない事実を目を向けるようになったことで婚活をスタート。アプリやイベントを活用したものの、本格的なお付き合いには発展しなかったことから2024年12月に結婚相談所に登録。

早速、気になるお相手と会食。別件でお見合いの話が持ち上がり、現在セッティング中。趣味は音楽鑑賞、スポーツ。

## レポータープロフィール

### 結婚観▶お互いのキャリアを 継続できる共働き

培ってきたキャリアを継続し、お互いに高め合える夫婦が理想。一軒家を建てて、2～3人の子どもに恵まれた楽しくにぎやかな家庭を望んでいます。そのためにも共働きで、家事も育児も協力し合えるパートナーを求めています。

### 婚活のきっかけ▶出会いが少なく 機会の創出が必要と

職場での出会いがなく、改めて周りを見渡すと早く結婚している組と、なかなか結婚しない組に二分されていることに気づいたそう。「このままでは後者の道、まっしぐらになるのでは」と危機感を募らせ、30歳で本格的な婚活を始めました。

## 婚活を始めたのは30の声を聞いてから

### アプリでは想定外の経験も…

30代に入ったばかりの頃、登録者数が多いことで知られる3社に登録しました。利用料が4,000円前後とお手頃で、趣味や興味のあることなどの検索が充実している点も魅力でした。

冬将軍さんが、お相手に望むこととして挙げたのは、①自分の年齢より+2～3歳まで、②定職についていること、③近隣県在住。条件に幅を持たせたためか、マッチングが成立した女性は50～60人にも上ったそうです。その中には、お仕事関係の知り合いも。「恐らく相手の女性も気づいていたと思います」と冬将軍さん。気まずさを感じ、お仕事で顔を合わせたときにこの話題に触れることもなく、アプリ上で連絡を取ることもありませんでした。

一方、マッチングが成立した人で気になった人とは、アプリ上でメッセージをやりとり。実際10人ほどと会いましたが「加工しすぎる写真で会ったときに本人だと気づかなかった」とか、「婚活よりも恋活重視の人だった」という経験も。中には明らかに詐欺が疑われるものもあったとか。本人ではないのでは？と疑わしくなる写真が掲載されていたり、メッセージで投資を勧められたりしたときは、運営会社に通報したといいます。「当時は、アプリ上で注意喚起の文章が掲載されていましたが、決して目立つような記し方ではありませんでした」と冬将軍さん。全国で急増するSNSを悪用した詐欺では、20代、30代の若い世代が被害にあうケースも目立ちます。違和感を覚えたら、近い人に相談したり、冬将軍さんのように運営会社に伝えたりするよう心掛けたいですね。

利用してみて感じたメリットは「1カ月の利用費用が比較的安価なため気軽に始めやすく、マッチングの機会が多く設定されているので出会いの機会が作りやすいこと」。しかし、登録が簡単のため業者の利用があったり、プロフィールがでたらめな会員も多くいたりしたそう。また「女性は無料で利用できるアプリが多いせいか気軽な出会いを求めている女性も多くように感じた」と言います。またマッチングの機会自体は多いので、いざマッチングしても女性からのリアクションがないこともあったそうです。冷静な判断力が必要なようです。

## 合コンやイベントなどリアルな出会い

### お付き合いの話に発展!?

友人に婚活中と伝えていたこともあり、合コンに誘われることもありました。そこで話が弾んだ方とは、LINEでやりとり。多くの場合、合コンごとにグループLINEが作られるので、あえて相手に連絡先を聞かなくても個人的なやりとりはスムーズにできます。

合コンがきっかけの出会いは、合コン時に人柄や趣味などある程度分かるので2人だけで会うときの緊張感が少なく済むうえ、何より流れが自然なのが魅力です。連絡先を交換した人の何人かと実際に食事に行きましたが、お付き合いをするまでには至らなかったそうです。

「ぐんま赤い糸プロジェクト（以下、あいぷろ）」のイベントにも数回参加。その後、LINEで連絡を取り合い、食事に出かけた人とお付き合いをする話になりました。しかしその後、突然「お付き合いするのはやめましょう」というメッセージが届き、連絡が途切れてしまったのです。「いきなり終了を告げられたのは初めて。原因は分からず、モヤッとした気持ちだけが残りました」と振り返ります。

ちなみに、婚活中の人たちに話を聞くと「徐々にフェードアウト」もしくは「返ってくるのがスタンプだけで相手の意向を察する」ことでエンディングを迎えるケースが多いと言います。

## 身元調査をしっかりとしてくれることが 安心につながる結婚相談所

30代半ばに差し掛かった2024年12月、結婚相談所に入会。周りに利用している人はなく、生の声を聞く機会はありませんでしたが、婚活を始めてからまだ利用したことがないサービスであり、会員数や出会いの機会が充実していて結果が出やすいように感じたことが入会を考えた理由でした。

数ある結婚相談所の中から選んだのは、業界最大級の会員数と長い歴史を持つX社。インターネット上で自己診断テストを受け、店舗への訪問日を決めました。店舗では本人確認書を提示。独身証明書、最終学歴を証明する書類、勤務先発行の源泉徴収票などの書類が求められ（オンラインでの提出も可）、20歳以上、結婚・内縁関係のない独身者、定職に就いているなどの入会条件に基づく審査があります。

少々手間に感じる人もいるかもしれませんが、冬將軍さんは逆に「しっかり身元を確認してくれるので安心して利用できる」と感じたそうです。初日はプランの説明だけで入会はできません。1週間後に再訪し、審査に通過したことで正式に入会が決まりました。

## アドバイザーの提案で目指すは 3カ月以内のお相手探し

X社のプランは2つ。X社の会員だけと出会える独自プランと、日本最大級の結婚相談所ネットワーク「IBJ」の会員とも会える「IBJプラン」です。紹介人数や紹介の仕方などの違いがありますが「ひと言で表すなら、アドバイザーが常に寄り添ってくれるのがIBJプラン、自発的な活動を重視するのが独自プランと言えるようです」と冬將軍さん。選んだのは「IBJプラン」でした。

X社では会員一人ひとりに対し、専任のアドバイザーがついてくれます。打ち合わせができるスペースはプライバシーを配慮し、パーティションで区切られているので、安心して話ができるのだそう。

入会後は、プロフィールを作成。「IBJプラン」は、X社用とIBJ用の2種類のプロフィールを作成する必要があります。「流用すればよいのでは!？」と考えてしまいましたが、文字数の制限が全く異なるのだそう。ほかの会員のプロフィールも文字数制限いっぱいに入力されていて「真剣度の高さを感じた」という冬將軍さんも、2種類のプロフィールをしっかりと書き上げました。

当初「1年以内に結婚相手を見つけ、そこからさらに1年後に結婚へと進めたら」と考えていた冬將軍さんでしたが、アドバイザーからは「3カ月以内にお相手を見つける、短期集中でいきましょう」と背中を押されました。



## 結婚相談所は思ったよりも気軽 入会后3週間。着々と進行中

お相手を紹介してもらうために、わざわざ相談所に出向く必要はありません。専用のアプリを自分のスマホにダウンロード。そこから職業、居住地などの希望の項目を入力して検索をすると、条件に合う相手の写真や詳しいプロフィールを見ることができます。「結婚相談所という信頼に加え、アプリの気軽さも兼ね備えていて使いやすい」と感じたそうです。

「検索して表示されるのは10~20人くらいかと思っていたところ、50~60人もいてその多さにビックリした」冬將軍さん。早速気になった人を見つけてメッセージのやりとりを始め、先日、初デートを果たしたそう。

その方とは別に、アドバイザーさんからの紹介が入る予定になっていると言います。「これではいわゆる『二股』になってしまうのでは?」という心配は不要。結婚相談所では、会食をしたことやお見合いが成立したことが、結婚相手として交際をするということにはなりません。会員が自分に合うパートナーと効率的に出会えるよう、真剣交際に発展するまでは同時進行も可能なのだそうです。

入会してまだ3週間ですが、出会いの場が確実に創出できている冬將軍さん。じきにやってくる春に期待は高まります。



## 入会した 結婚相談所 について

アプリの気軽さと頼れる  
アドバイザーがいる安心感  
真剣な人が多く効率よい  
相手探しにおすすめ

冬將軍さんが入会したのは、長い歴史を持ち全国規模のネットワークを敷く大手結婚相談所X社。会員数も多く、中でも30代の層が厚いことで知られています。

本文でも紹介したように、まずは身分証明書を提示が求められます。入会には審査が必要で、学歴を証明する書類、独身証明書、勤務先の源泉徴収票などが必要（オンラインでの送信も可能）。審査が下りると入会となります。

プランは、X社の会員だけと出会える独自プランと、日本最大級の結婚相談所ネットワーク「IBJ」の会員とも会える「IBJプラン」があります。冬將軍さんが入会した「IBJプラン」は、入会金は約13万円で、月会費は2万円弱。

出会いは次の8種類の方法があるそうです。

※（）内は、毎月申込可能な人数

- ①専用のスマホアプリでIBJ会員の中から検索してお見合いを申し込む（15人）
- ②自分とお相手、2人の希望条件を満たした人を定期的に紹介（6人）
- ③人工知能が相性や興味から判断してマッチング（3人）
- ④気になった人とのお見合い（1人）
- ⑤写真付きのプロフィールを見たり、検索をかけたりにして気になった人に連絡を申し込む（5人）
- ⑥気になるお相手に好意をマークで伝える（5人）
- ⑦アドバイザーからの紹介
- ⑧会員限定婚活パーティー

OKの場合は、相手のメッセージに返答したり、相手のアピールマークに反応したり。NGの場合は、相手のメッセージに「ごめんなさい」ボタンでリアクション。または放置して一定期間経つと自動的にNG扱いになるのだそうです。真剣なお付き合いを始めたら、月額約2,000円で最大12カ月、婚活サービスを休止できます。

「マッチングアプリより安心して使え、真剣な思いで利用している方がほとんど。確かに費用はかかりますが、真剣に早く結婚を考えたい人に結婚相談所は、有効な選択肢だと思います」と話してくれました。



## 【コラム】 column

### マッチング相手からの 詐欺被害に注意

冬将軍さんの体験談にもあったように、マッチングアプリ等を利用する人の中には、知り合った相手から投資を勧められてお金をだまし取られた、という被害にあった人もおり、十分注意が必要です（消費生活センター調べ）。

独立行政法人国民生活センターでは、こうした被害を防ぐため、「マッチングアプリ等で知り合った人に騙されないためのチェックリスト」を作成しています。

[https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20221221\\_1.html](https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20221221_1.html)